

待機所に着いて間もなく、2区を走る選手たちが次々とウォーミングアップの jog を始める。

ウォーミングアップの方法は人それぞれだが、準備体操で身体をほぐし、3~5km 程度の jog、ストレッチで関節可動部を広げる、100m くらいのスプリント（流し）を数本くらいが一般的だろう。競技者でない人からすれば、本番を走る前にそんなに走るのかと驚かれるのではないだろうか。

そんなアップをする選手の中に今年2区を走る渡辺瑠偉の姿があった。渡辺は千葉県出身の入社1年目、期待のルーキーである。工場管理部に配属され、今はまだ業務を覚える見習いの日々を送っている。

入社から間もなく、インフルエンザを発症してしまい、そこから体調を戻すのに時間を要してしまった。入社後に2度トラックレースを走ったが、本来の力からは程遠い結果となり、入社後のスタートダッシュに失敗し出遅れてしまった感は否めず悔しい思いがある。

何しろ大学時の1万m、ハーフマラソンでマークした自己ベスト記録はレベルが高く、歴代当社入社選手で断トツのトップ記録であり、周囲の期待をヒシヒシと感じていただけに、入社後初めての駅伝となる今回のレースに対する意気込みは十分だ。

そして、いよいよレースは2区へ移る。次々と大学勢が通過する中、渡辺の姿がバックミラーに入ってきた。表情は普段通り非常に落ち着き払っているのが印象的だ。

渡辺は既に一般数チームをかわし、前の大学勢を追う。ラップタイムは然程速くないが、前を行くチームとの差は保ったまま峠へ差し掛かった。ゆったりとしたフォームだが、登り坂の走りは適性としても悪くない。それを証明するかのように峠の頂上付近で前を行く大学チームを捉えたが、後方から追ってきた別の学生選手には勢いがあり、峠の下りで追いつかれて激しく並走する。



学生と競り合う渡辺

峠を下り切って視界が開けると学生には離されたものの、前方には1分30秒のアドバンテージがあった一般先頭チームの姿が見えた。渡辺は一気に抜き去り、一般の部で先頭に躍り出た。



一般の部の先頭を捉える渡辺

レース前半の順位争いで疲労した渡辺は、後半の坂でキツイ走りとなったが、前田監督のゲキと給水により何とか持ち堪え、順位をキープしたままラスト2kmの市街地へ入っていく。

しかし、残り2kmだが足取りは重く、前を行く大学勢との差は広がっていく。ここで更に監督のゲキが飛び、給水を受けた渡辺は必死に声に反応し身体を前へ進める。

踏切に差し掛かって残り1kmとなったが、最後まで緩やかなアップダウンが選手を苦しめる。



2区 渡辺 ⇒ 3区 加藤へのタスキ渡し

3区に加藤先輩のためにも、前のチームが見える位置で渡さなければならない。自らの役割を果たすべく走る激しい息づかいが監督車まで聞こえてきた。

そして、中継所が見えた渡辺は懸命にスパートして3区に加藤へタスキを渡し、安心したのか、その場へ倒れ込んだ。

最後まで苦しんだが、今持っている力は全て出し切った見事区間賞の走りであった。



よく頑張った！！ 瑠偉 お疲れ様！！

【2区成績】一般の部

距離 : 9.5km

順位 : 1/39位 (大学を含む全体順位 : 7/53位)

タイム : 29分05秒 (目標タイム : 29分00秒)

以 上

※ イベントレポート (第3回 : 3区) へ続く